

桜でいっぱい

～咲くや鮎河さくらまつり～

15、16日の両日、土山町鮎河地区でさくら祭りが行われました。

この祭りは地元の桜まつり実行委員会が主催されたもので、近くのうぐい川兩岸に約200本もの桜が植えられ、花見に合わせて毎年多くの方が訪れます。

初日はあいにくの天候でしたが、2日間に渡るこの祭りでは、もちつきや、よさこいソーラン、甲南太鼓なども披露され、皆さんは桜の花でいっぱいになった春の一日を過ごされていました。



▲たくさんの方で賑わう鮎河の桜まつり



期間 5月7日(日)まで

青土ダムの鯉のぼり

土山町の青土ダムには今年もカラフルな鯉のぼりが泳ぎます。

これは鮎河緑化クラブの会員の方々が、各家庭で使用しなくなった鯉のぼりを集め、再び泳がせてあげようと毎年企画されています。

ダムを横断するように600mも並ぶ約100匹のこいのぼり、今年も市内から集めた様々な鯉のぼりが泳ぎますので、ぜひ見に来てくださいね。



▲風になびく様々な鯉のぼり

園児が忍者姿に変身!

～春の全国交通安全運動街頭啓発～

春の全国交通安全運動がスタートした4月6日(木)、市内で交通安全街頭啓発が行われました。

今回も甲賀忍者を登場させ、交通安全確認じゃ(忍者)と書かれた啓発ボードを掲げ、ドライバーや買い物客に啓発品を手渡しました。この日は甲賀湖南交通安全協会、甲賀警察署など約20人が参加、また水口西保育園の園児らが忍者衣装で「交通安全でね、ニンニン」と呼びかけながら『甲賀流交通安全護身秘法』と名付けた手作りの巻物などを買って配りました。巻物の中には反射材リストバンドや薬草茶などが入っていて、受け取ったドライバーは「交通安全に気をつけます」と笑顔で答えていました。



▲市内大型量販店での街頭啓発

市民スタジアムでプレイボール!

～甲賀市民スタジアムオープン記念大会～

1日にオープンした甲賀市民スタジアムで式典と記念大会が開かれました。

式典では市内スポーツ少年団13チームの代表がくす球を割り、始球式の後、NOMOベースボールクラブと甲賀健康医療専門学校などの対戦が行われオープンを祝いました。試合結果は右のとおりです。



4月1日(土)

1試合目 社会人硬式の部 (招待試合)		
NOMOベースボールクラブ	6-0	甲賀健康医療専門学校
2試合目 中学生硬式の部 (招待試合)		
湖南ビッグボーイズ	6-2	津ボーイズ

4月2日(日)

優勝		準優勝
1試合目 小学生軟式の部 (決勝戦)		
甲南中部スポーツ少年団野球	8-1	水口サンボーイズ
2試合目 中学生軟式の部 (決勝戦)		
甲賀セントラル	8-6	水口中学校
3試合目 社会人軟式の部 (決勝戦) ※4月16日(日)に延期		
白水クラブ	6-1	信楽勅旨クラブ
4試合目 シニア軟式の部 (決勝戦) ※4月8日(土)に延期		
甲南忍シニアベースボールクラブ	3-0	甲賀野球シニアクラブ

▲完成を祝いくす球を割る市内スポーツ少年団の代表者たち



▲馬上から弓で矢をつがえる氏子青年

甲賀町隠岐の椿神社で4月2日、流鏝馬(りゅうげいば)が行われました。南北朝時代、当地の領主佐々木五郎義清が凶徒を制し、悪魔降伏を神に祈念するため、馬にまたがり矢を射る神事を奉納した事が始まりと伝えられています。現在では市指定の無形民俗文化財に指定されています。乗馬するのは、20歳〜30歳までの男子氏子で毎年3月1日の、みくじ祭の神事によって決められるそうです。また男子氏子は3日間家族に顔を合わせず身を清め、神様になりきり行いをします。当日は、14時頃おはらいを受けた後、農道に設けられた馬場(約100m)を5回走ります。1回目は2ヶ所の的に矢を射り、2回〜4回目は走馬の馬上で両手を大きく広げ、最後の5回目は口の丸の扇子を掲げて走ります。馬上でのポーズが決まると見物の人たちから大きな拍手があります。「今年の走馬は速く迫力があつたな。」

「不慣れた乗馬なのにうまく乗りこなして上手なもんや。」と乗り手に声をかけていました。なお、的は合歡(あまのむす)の木で作られ、これを「かふかの的」と言っています。この的を願い受け、家牛舎に納めると疫病を免れると言われています。

春だ! 祭りだ!!

甲賀にさくらとともにやって来た

椿神社・流鏝馬(りゅうげいば)

◎寄稿者 まちかど特派員 上西 定雄